

国道10号門川日向拡幅 長江交差点～木原交差点間（1.2 km） 開通1ヶ月後の交通状況及び整備効果について

令和5年6月24日に国道10号門川日向拡幅長江交差点～木原交差点間（1.2 km）が開通しました。

開通からおよそ1ヶ月後の交通状況や、救急医療・物流などの開通効果をお知らせします。

【交通状況】開通1ヶ月後の交通状況の変化

- ・ 混雑時の旅行速度が**約17 km/h 向上!**
(開通前 18.5 km/h → 開通後 35.4 km/h)
- ・ 交通量は**約1,200台/12h 増加!**
(開通前 13,250台/12h → 開通後 14,403台/12h)

【地域の声】救急医療・物流・日常生活における変化

- ・ 迅速な救急医療活動が実現
- ・ 物流活動の効率化・ドライバーの負担が軽減
- ・ 地域住民の安心安全を確保
- ・ 通勤・通学が快適に

※今後、継続的な調査を行い、開通後の交通量や整備効果など、引き続きお知らせする予定です。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所

電話：0982-31-1155（代表）

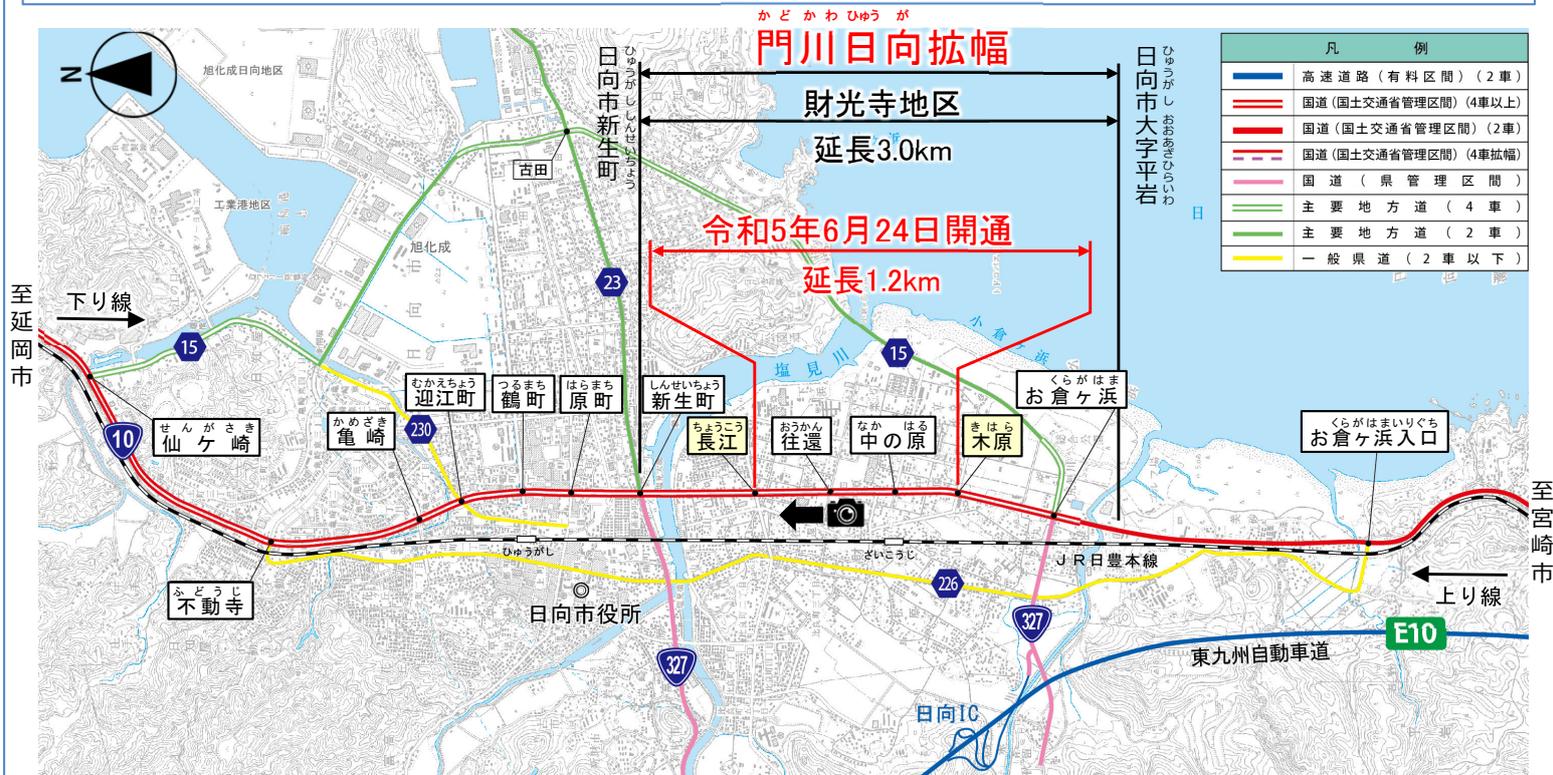
技術副所長（道路） 内田 均 （うちだ ひとし）

計画課長 小堀 与一 （こぼり よいち）

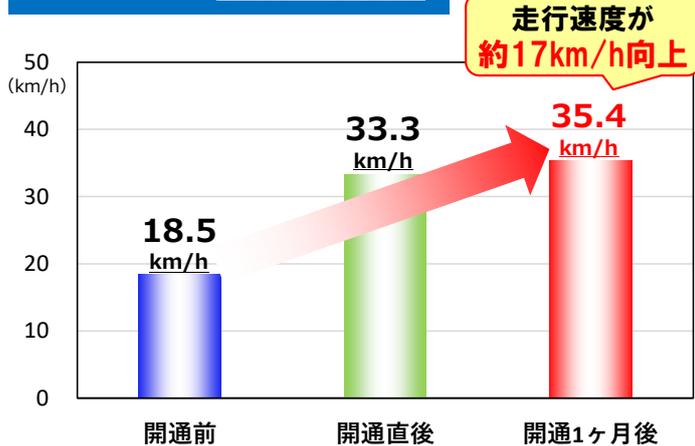
事務所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

事務所Twitter https://twitter.com/mlit_nobeoka

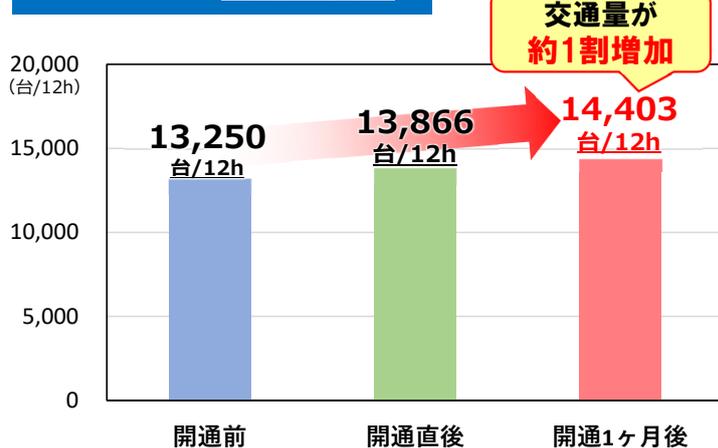
- 門川日向拡幅（長江～木原交差点間）の4車線化により、混雑時の旅行速度は約35km/hとなり、開通前と比較し約17km/h向上
- 開通1ヶ月後の交通量は14,403台/12hであり、開通前と比較し約1割（約1,200台）増加



■ 開通区間の旅行速度変化



■ 開通区間の交通量変化



資料: ETC2.0プローブデータ(平日17時台)

開通前:R2.1~R2.12、開通直後:R5.6.26~ R5.6.30、開通1ヶ月後:R5.7.24~ R5.7.28

※速度は「長江～中の原」交差点の上り方向

資料: 12時間(7-19時) 交通量調査結果(上下線合計)

開通前:R5.3.9、開通直後:R5.6.27、開通1ヶ月後:R5.8.3

※長江・往還・中の原・木原交差点の調査結果を集計

- 門川日向拡幅により、救急医療において、救急車両の円滑な走行が可能となり、迅速な救急医療活動が可能になった
- 物流において、搬送時間の短縮による効率化、混雑時の加減速の軽減による荷崩れや荷傷みの回避が可能になった
- 日常生活において、渋滞の解消により事故リスクが軽減され、また通勤・通勤が快適になった

迅速な救急医療活動が実現

開通前



【救急医療関係者の声】～日向市消防本部～



- 救急搬送のルートは、国道10号が生命線となっていますが、渋滞がひどい状況での車両の追い越しは大変かつ危険であり、搬送に時間を要していました。
- 4車線化したことで、渋滞時の通過が可能となり、迅速な搬送に寄与しています。



資料：令和5年9月ヒアリング結果

物流活動の効率化・ドライバーの負担が軽減

【物流関係者の声】～運送会社～



- 渋滞が緩和されたことで、運送時間の短縮だけではなく、渋滞時の加減速に伴う荷痛みや荷崩れ等の心配もなくなりました。
- また4車線化され広い歩道が整備されたことで、風圧により自転車がよろける心配が減り運転時の負担が軽減されました。



資料：令和5年9月ヒアリング結果

地域住民の安心安全を確保

【関係者の声】～日向市警察署～



- 国道10号では渋滞に起因すると想定される追突事故が多発していました。
- 門川日向拡幅の開通により渋滞が解消されたことで、そのような事故の発生リスクが軽減したと思います。



資料：令和5年9月ヒアリング結果

通勤・通学が快適に

【関係者の声】～日向市役所～



- 国道10号は渋滞がひどく、渋滞を避けて迂回することもありました。
- 門川日向拡幅の開通により、渋滞が解消されたことで、スムーズに移動できるようになり、通勤・通学が快適になりました。



資料：令和5年9月ヒアリング結果